

しょうがくせい しんろ しんがく
小学生の進路・進学

分かる快感！

Z会ナビ

算数

理科

▶歴史

地理

お題

会議に招かれなかった国は？

(一橋大学 1995年 日本史)

1951年9月8日には、太平洋戦争の講和条約であるサンフランシスコ平和条約が調印されましたが、この条約が調印された会議には、有力な交戦国の一つが招かれませんでした。日本がその後、その国とどのような形で講和を行ったか、具体的に説明しなさい。

今日はクリスマスイブですね。今回は12月24日にちなんだ問題を紹介します（どうしてなのかは、この後をお楽しみに……）。

太平洋戦争は、アメリカをはじめとする連合国と日本との間で行われた戦争のことで、戦争は1945年に終わりましたが、その後、日本は連合国の統治下に入り、51年のサンフランシスコ平和条約の締結によって、日本はようやく独立した国としての権利を回復しました。

サンフランシスコ平和条約は、太平洋戦争で日本と戦った国との間で結ばれる条約でしたが、日本と長期間直接戦ったにもかかわらず、条約を調印する講和会議にすら呼ばれなかった国がありました。それが、中国です。

2つの「中国」

日本と戦争をする以前から、中国では中国共産党と国民党という2つの政党が対立し、権力争いをしていました。日本との戦争中は、国の非常時ということで、政党同士の争いは一時休戦状態となりましたが、日本が敗戦し、共通の敵がいなくなったところでふたたび争いが始まり、49年には中国大陸に中国共産党が中華人民



イラスト・瑞木匠

12月24日の歴史

共和国を成立させ、国民党は台湾に移り中華民国という別の国であると主張したため、「中国」が2つ存在することになりました。

どちらが中国の代表か

そして、講和会議が開催されました。当時、世界ではアメリカとソビエト連邦の2国が大きな発言力を持ち互いに争っていましたが、アメリカが中華民国を、ソ連が中華人民共和国を支援したため、どちらを会議に呼ぶか決着がつか

ず、どちらも呼ばないことになったのです。

独立後もアメリカと親密な関係にあった日本は、中華民国を「中国」とすると決め、中華人民共和国とは関係結びませんでした。しかしその後、中華人民共和国は親密だったソ連との関係を悪化させ、距離を置くようになりました。中華人民共和国は国際連合に加盟するなど国際社会でも存在感を増してきていたこともあり、アメリカはこれをチャンスとして中華人民共和国に急速に接近し、国交を結びました。

日本もアメリカの動きを受け、72年に中華人民共和国と日中共同声明を発表して国交を正常化し、78年に日中平和友好条約を結びました。現在、台湾の中華民国と日本の間には、貿易関係はありますが、正式な国交はありません。

ちなみに、日本が中華民国を「中国」とするとアメリカに文書で伝えたのが51年12月24日、中華人民共和国との平和友好条約を調印した福田赳夫内閣が成立したのが76年12月24日、というわけで、クリスマスイブにちなんだ今回の歴史の問題でした。【Z会・河原井彩】

！今回の教訓

実際の歴史の問題で日にちまで聞かれることはほとんどありませんので、安心してください。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を担当。趣味は乗り物に乗ること。将来は猫と2人暮らし（希望）。新潟県生まれの埼玉県育ち。